

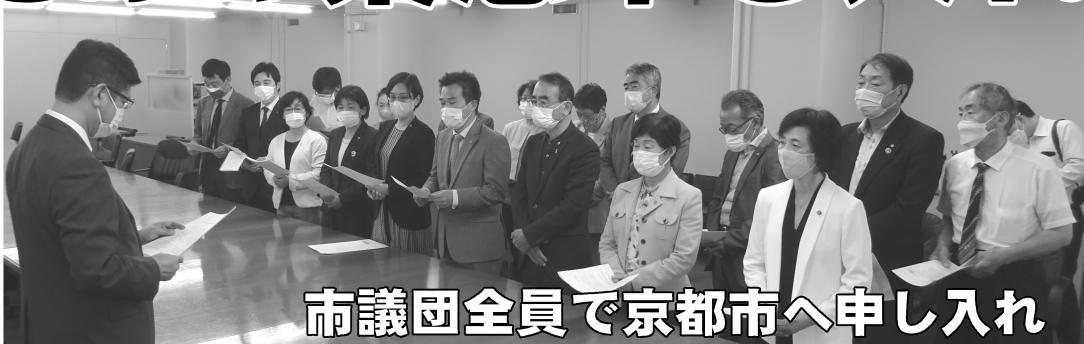
くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 西野さち子です！

発行：2020年5月30日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

「PCR検査の抜本的充実」「病床増」「ホテル療養改善」など いのち守るために緊急申し入れ

「肺炎でも入院できず」「濃厚接触者のPCR検査が遅すぎる」「ホテル療養の食事がひどい」京都市でも深刻な声いくつも



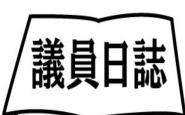
市議団全員で京都市へ申し入れ

日本共産党市会議員団は、5月17日に新型コロナウィルス感染症対策について、再度申し入れました。議員団はこのほかにも、「新型コロナワクチン予防接種についての緊急申し入れ」「中小企業等への支援拡充の緊急申し入れ」等を行っています。

17日の申し入れで18次になります。この緊急申し入れを行ったのは、5月6日に京都市内で20代の男性（基礎疾患なし）が自宅療養中に亡くなられたこと、緊急事態宣言中でも感染拡大の勢いが止まっていない現状があるためです。

内容は、医療・保健体制の総点検と見直しとPCR検査を抜本的に強化し、市民・事業者に対して補償と一体とした協力要請を行うことについてです。主なものは京都府が公表している病床使用率や空き病床数の公

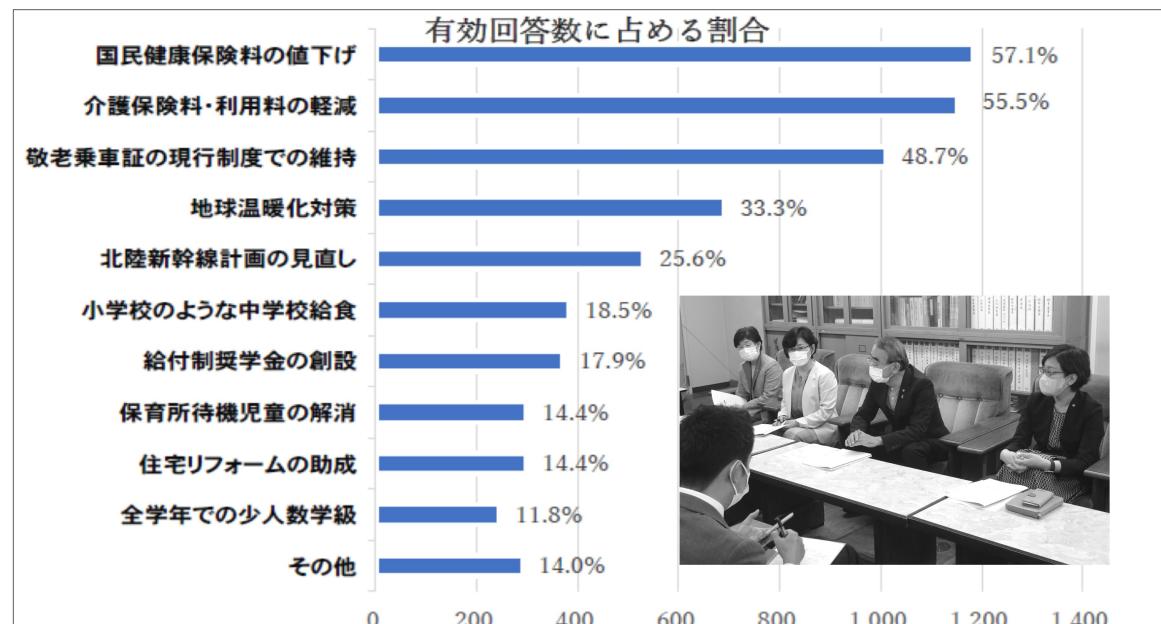
表を、重症・中等症・軽症別に「受け入れ可能数」「稼働数」を明らかにし、実態に即したものにするここと。命を守るために病床をさらに確保すること。医療機関への減収補填対策を十分に行うこと。感染者が入院できない場合には、原則として宿泊療養施設に入所するよう迅速な対応を行うとともに、抜本的な拡充をはかること。宿泊療養施設に医師を配置し、容体の急変が予測される場合に直ちに入院できるように対応すること。無症状者へ無料PCR検査の規模を大幅に引き上げることを要請するとともに、京都市独自に、無症状者が本人の希望に基づいて無料PCR検査を行える体制を確立し、市民・事業者に対して広く協力を呼びかけること。少なくとも、他都市で行っている助成制度なども検討すること、などです。



市議団アンケート記者発表 寄せられた声を市政に届け、実現へ全力!!

市議員団が2月から京都市全域で行ってきたアンケートの集計ができるので、記者発表をしました。最終的には2400通近くが寄せられました。寄せられた声を今後の市政に活かすために頑張ります。

アンケート結果より抜粋 京都市政に望むこと(複数回答可)



コロナ対策より軍事演習に約77億円

5月23日赤旗記事や各社報道では、7日～21日の陸上自衛隊「富士総合火力演習」で訓練も含め約77億円の予算を使いました。中でも22日の演習で使われた弾薬は1日で10億円を超えていました。倒産が急増している中小企業支援にこの予算を回せば、少しでも応援になります。「お金がない」と自助を強調する一方でこのような税金の使い方に、黙っているわけにはいきません。

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!

☎ 621-6717